

県内部活、団体に4493万円

伊藤青少年育成奨学会が助成

公益財団法人伊藤青少年育成奨学会(多治見市)は本年度、高校などのクラブや地域振興に携わる団体の活動に対し、計4493万円の助成を行うことを決めた。贈呈式が5日、可児市大森奥洞のバローホールディングス人材開発センター「嫩葉舎」であり、田代久美子理事長が代表者に目録を手渡した。

助成先はクラブ活動が39校の51クラブ(運動系30、文化系21)に計3057万円、地域振興団体が12団体に計1436万円。応募のあった61校の132クラブと26団体の中から選ばれた。式には86人が出席。選考委員長を務めた長谷川佳子理事が「応募は昨年度を上回り、全体的に高価値で有意義な申請が多かった」と報告し「若い皆さんには潮流の先を見る考え方と対応

田代久美子理事長から目録を受け取る代表者＝可児市大森奥洞、嫩葉舎



が望まれる。各団体のリーダーとして、大きな目標に向かって果敢に取り組んで」と期待を示した。

助成金で練習用具を整え

る大垣西高校アーチェリー部、弓などを購入する土岐商業高校弓道部、公式審判機セットを導入するはしまモアフェンシングクラブが田代理事長から目録を受け取った。

来賓の堀貴雄県教育長が「多額の支援ありがとうございます」とあいさつ。大垣西高アーチェリー部部長の3年岩田実乃さん(17)が「物価高騰で弓などの購入が難しくなり、夢を諦める同期や後輩が多い。頂く助成金で、より好成績を収められるよう努力する」と謝辞を述べた。

奨学会はバローH.Dの創業者故伊藤喜美氏が私財を投じて設立。助成は青少年の健全育成と地域社会の振興を目的に2000年度から原則毎年実施している。

(小森直人)

助成先は次の通り。

【地域振興活動】護山神社、県水泳連盟、郡上高校凌霜クラブ、中津川工業高校、iGEM Gifu、FC AJSIAI、知的障がい者サッカー県選抜、はしまモアフェンシングクラブ、第2回恵奈人による恵那の音楽祭実行委員会、Glanz飛騨高山、多治見中学吹奏楽クラブ、北稜中学校吹奏楽クラブ、【高校等クラブ活動】恵那高探究理科数科部課題研究、大垣北高コンピュター・放送部、放

送、大垣工高情報技術部・太鼓部、大垣商高水泳部、大垣西高バスケットボール部・アーチェリー部、大垣日本大高吹奏楽部、大垣南高硬式野球部、大垣養老高生部・大垣、各務原西高剣道部、可児高卓球部、加茂高(定時制)バスケットボール部・サッカー部、可児特別支援学校サッカー部、加茂農林高フラインアレンジメント部、岐南工高建築研究会、岐阜高書道部、岐阜各務野高ホッケー部・弓道部、岐阜工高デザイン研究部、岐阜商高テニス部・茶華道

部、岐阜聖徳学園高ラグビー部、岐阜城北高バドミントン部、岐阜総合学園高マルチメディア部、岐阜第一高パソコン部、岐阜農林高食品微生物選択者グループ、啓晴高バレーボール部、関高水泳部・美術・書道(書道)部、関商工高機械部、高山工高陸上競技部、多治見北高卓球部、多治見工高吹奏楽部、多治見西高ソフトボール部、中京高弓道部、東濃特別支援学校インラインスケート部・サッカー部、土岐商高弓道部、富田高女子バスケットボール部、中津高水泳部・弓道部、長良高男子バレーボール部、羽島特別支援学校フライングディスク部・音楽部、斐太高陸上競技部・放送部、麗澤瑞浪高卓球部・太鼓部